

# 埼玉・川口「かわぐちキャスティ」、大規模改装12月完了

#新型コロナ #埼玉 #関東

2021/10/27 1:49 [有料会員限定]

JR川口駅東口の専門店ビル「かわぐちキャスティ」（埼玉県川口市）は12月、今春から進めてきた大規模改装を完了する。全38店のうち約10店が新店・改装店となる。新型コロナウイルス感染防止の一環として全館のトイレに抗菌クロスを張り、エスカレーターも大半を抗菌タイプの手すりに切り替える。かわぐちキャスティは2月に閉店した、そごう川口店に隣接しており、駅前にぎわい確保に期待が高まりそうだ。



12月に今春から進めてきた大規模改装を完了する「かわぐちキャスティ」（埼玉県川口市）

今後、新たに開店するのは、10月29日オープンのアニメ専門店「アニメイト」、12月開店予定のシェアオフィス「H1T（エイチワンティー一）」。そごう川口店に入っていた美容室「パームパム」が3月、化粧品店「パウダーパレット」が9月に出店するなど、そごう川口店を利用していた顧客をJR川口駅周辺につなぎとめる受け皿の一つにもなっている。



9月に出店した化粧品店「パウダーパレット」と、かわぐちキャスティの本沢慎一館長

全館のトイレについては抗菌クロスを張ったほか、白地の床に切り替えて明るい雰囲気を出すとともに、汚れないように掃除がしっかりできるようにした。本沢慎一・かわぐちキャスティ館長は「2005年の開業以来、年間を通じては最も大規模な改装となり、22年3月期の全館売上高を前期比20%以上増やす効果をめざしている」と話している。

かわぐちキャスティは川口鋳物工業協同組合が保有する専門店ビルで、延べ床面積は約1万6400平方メートル。施設運営は丸紅リアルエステートマネジメント（東京・港）が担当している。